



受付では消毒、検温、健康チェックを行っている。

使用したベッドや器具類もお客さんの施術が終わるごとに消毒している。



■店舗情報■

店名：サロンドブリエ
 店員：西田由美(にしだ ゆみ)(母)
 岸井絵梨(きしい えり)(娘)
 住所：吉川市川富 163-3
 電話番号：048-915-1380
 HP：www.salondbriller.jp/
 母と娘で営む癒し空間。自然に囲まれたログハウス風の美容室

近くなるので、インターネットなどからコロナ対策の方法を調べ、試行錯誤しました。
 アルコール消毒はもちろん、極力会話を減らしたり、施術中にはお客様にスマートフォンのご遠慮いただくなど出来る限りの対策を考えました。」

「サロンドブリエ」
 ログハウスの店内に入ると、そこはまさに癒しの空間でした。失礼ながらこんな場所にこんな素敵なお店があったんだと、川富の人はしあわせだと思いました。「居心地良い雰囲気です。施術中はお客様にスマートフォンのご遠慮をお願いいたします。男性・女性問わず、幅広い年代の方に愛されるサロンを目指します。」というお店のキャッチフレーズにピッタリな、そんなお店でした。

美容師の母親から自分で美容室をやってみたらと言われたのがきっかけです。
 自宅の敷地内に美容室を建てようという探していたところ、ログハウスのキットに出会いました。主



ログハウスの木のぬくもりを感じながら自然体で過ごせる癒しのサロンです。左がお母さんの西田由美(にしだ ゆみ)さん、右が娘の岸井絵梨(きしい えり)さん。



ホームページのフォトページ。新型コロナウイルスが収束した際には、サロンで素敵に変身したお客様の笑顔でいっぱいになるだろう。



現在は基本的に休業中、春頃からの再開を目指している。施術中は極力会話を減らし、お客さんにもスマートフォンの使用を遠慮していただく。

店の看板犬「ボンちゃん」。



人や父親が約1ヶ月かけて作り上げたこだわりのお店です。ホームページも知り合いに頼んで作っていただき、だんだん口コミで広がって、ご近所の方も通ってくださるようになりました。」

「うちは年輩のお客様が多いのですが、若い方に対して差がわかりやすいというか、ピフォアアフターがすごいよくわかるんです。そういう変化を写真に撮り、ホームページで紹介していけたらいいなと思っています。皆さん気づいていないだけで本当にきれいなんです。そういう「いつまでもきれいでいたい」という気持ちをお手伝いできたいいなと思っています。」

「サロンドブリエ」は吉川市川富に店を構える、ログハウス風の建物にひととき目を惹かれる、母(美容師)、娘(アイリスト)、ご希望があれば愛犬(ボンちゃん7歳)がお客さんをおもてなしする癒やしのサロンでした。
◆新型コロナウイルス対策◆
 「今はまだお客様が安心してご来店できる時期ではないと思いついて実践していませんが、事態が落ち着いたらデジタルでいろんな方を写真に撮りホームページやインスタグラムなど、SNSで発信して行けたらなと思っています。」

「コロナ禍においては4月から5月はお店を完全に閉めていました。その後再開するときは家族が高齢のものや特に母が療養中でしたので不安でした。現在はまた基本的に休業中で春ごろから再開できればいいなと思っています。
 私が担当するまつげエクステは、性質上、お客様との距離は必然的に

Salon de briller

サロンドブリエ

ログハウスの木のぬくもりを感じながら自然体で過ごせるサロン
 お客様の髪の悩みにお答えし一人一人の魅力を最大限に引き出します

店の雰囲気を大事にした、品のあるサロンドブリエのホームページ。予約は電話のほか、LINEでも申し込みが出来る。お母さんのヘアサロンと娘さんのまつ毛エクステの2枚看板。

